

令和4年度第3回秦野市社会教育委員会 会議録(要点筆記)

1 日 時 令和5年2月17日(金) 午後2時から4時まで

2 場 所 秦野市役所教育庁舎3階大会議室

3 出席者

(1) 社会教育委員(敬称略)

横山潔、田中健嗣、竹内房枝、渡邊明美、川口富治、浜野則彦、
藤木玲子、逢坂伸一、山口徳造、渡邊哲幹

欠席：竹尾信行、高橋弘子、奈良利代子 (全13名中10名出席)

(2) 市

佐藤教育長、宇佐美文化スポーツ部長、水島生涯学習課長、山本図書館
長、北口スポーツ推進課長、安藤教育指導課学習支援担当課長代理
[事務局]石原生涯学習担当課長代理、松永生涯学習担当主任主事

4 会議の概要

(1) 開会、資料確認

事務局より、効率的な会議の実施をアナウンス。

(2) 会議成立報告

事務局より、竹尾委員、高橋委員、奈良委員の欠席を報告。社会教育委員13名中10名が出席しており、秦野市社会教育委員会規則第4条の規定(半数以上の出席)により会議が成立したこと、また本日の会議に傍聴者がいない旨の報告。

(3) 逢坂議長あいさつ

昨日の神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会(箱根町会場)に参加された委員の皆様は、連日の出席に感謝したい。人口が減少し、観光客が増えている箱根町は、学校が統合されバス3台で生徒の送り迎えをしたり、青年団が全部で6名しか在籍していないなど、本市とは全く違った環境での社会教育の様子を伺うことができた。

2月6日(月)に神奈川県社会教育委員連絡協議会理事会があり、当日の資料を机上にて配付している。令和7年に開催される関東ブロック大会が神奈川会場となるため、委員の皆様にも御協力いただくことがあるかもしれないので御了承いただきたい。

事務局より送付いただく議会報告資料を見ると、社会教育について質問し、深い話をされている方も見受けられた。今後、社会教育委員あるいは

教育委員と市議会議員と対面で協議の場なども設けられると良いと思う。

(4) 教育長あいさつ

社会教育委員の皆様には、日頃から生涯学習活動の実践や推進について、本市の社会教育行政に多大なるお力添えをいただいております、会議においては、社会教育関連事業に対し、御意見をいただくなど、大きな役割を担っていただいている。

まず、本日御出席の渡邊明美委員がこの度、社会教育委員として令和4年度教育功労者表彰受賞となった。長きにわたり社会教育の運営に従事され、多大なる御協力に感謝申し上げたい。

2月10日（金）に開催予定であった神奈川県地域婦人団体活動研究発表大会は残念ながら雪予報により中止となってしまったと聞いているが、当日配付予定だった冊子を拝見すると、婦人会の皆様の地域に根差した活動を継続させている様子は、社会を前向きに進める大きな力になることを予感させるものであり、改めて敬意を表したい。

また、5名の委員の皆様が参加された『全国報徳サミット相馬市大会』が3年ぶりに会場開催され、総勢約600名が集まり、非常に大きな盛り上がりを見せたと聞いている。昨年度は私自身、オンラインによる掛川市大会に参加させていただいたが、報徳仕法によるまちづくりをはじめ、多くの学びを得ることができた。ぜひ今後もこの『全国報徳サミット』を、委員の皆様が報徳仕法に触れ、理解を深める貴重な機会としていただきたいと思います。先日の教育長表彰においても、「積小為大」について子どもたちにお話をした。本日発行予定の「教育長だより～エール～」には、「分度」について触れており、秦野の子どもたちにふるさと秦野の哲学として、学んでほしいと思っている。

学校教育と社会教育の協働を進めていく中で、4つの柱を大切にしている。読書活動の推進では、よむよむデーという啓発日の設定、朝読書の推進、学校図書室の地域開放、電子書籍の学校での提供を考えている。逢坂議長から、社会教育の1つの指標として街の図書館の元気度合が大切だと教えていただいたこともあり、読書活動の推進には特に力を入れ、社会教育との協働の姿勢を見せていきたいと思っている。その他、夕暮こども短歌大会、親子川柳大会、はだのっ子アワードも参加者が増加している。

コミュニティ・スクールについては、来年度研究校入れて22校中19校、ほぼ全ての学校で実践を予定している。

この後、北口スポーツ推進課長より説明があると思うが、子どもと向き合う時間を確保する方策の1つとして、長年検討していた学校体育館等の開放業務の移行がスタートする。少しでも先生たちが子どもたちと向き合う時間の確保につなげていきたいと思っている。

部活動の地域移行については、先日フォーラムを開催した。後ほど担当より資料をお届けするが、誤解のないように申し上げておくと、学校から部活動がなくなるわけではない。子どもたちが減っていく中で、部活動を持続可能にしておくために協議を進めているものである。本日お越しのスポーツ協会専務理事の浜野委員にも特段の御配慮をいただいております、地域の方々と共に、子どもたちのスポーツ活動を新しい形に進化させていきたいと考えている。

任期中最後の会議となるが、2年間本市の教育行政並びに社会教育行政に多大なるお力添えをいただいたことに改めて感謝申し上げますとともに、本日の会議についても、皆様がお持ちの専門的見地からの貴重な御意見をいただきたく、どうぞよろしくお願ひしたい。

(5) その他

以降の議事を、逢坂議長が進行することとなる。

(6) 議題

資料1により、生涯学習課長から議題(1)を説明。

ア (1) 令和5年度社会教育関係団体等補助金について

[質疑応答・意見等]

〈逢坂議長〉

令和5年度社会教育関係団体等補助金について、社会教育法第13条の条文『地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付する場合、あらかじめ社会教育委員会議にて意見聴取のうえ、行わなければならない』に則り、委員の皆様にお諮りしたい。

〈委員一同〉

異議なし

〈逢坂議長〉

それでは、令和5年度社会教育関係団体等補助金の内容について承認することとする。

(7) 情報提供・参考資料

資料 2～4 により、生涯学習課長から情報提供(1～3)を説明。

- ア (1) はだの歴史博物館条例の一部改正について
- イ (2) 第3回ミュージアム青空レクチャー「渋沢駅周辺の風景を訪ねて」について
- ウ (3) 第6回ミュージアムさくら塾

「秦野市の地形と地震の痕跡－秦野市内の遺跡から見つかった地震跡－」について

[質疑応答・意見等]

〈逢坂議長〉

最近も見学をさせていただいたが、はだの歴史博物館の事業がだんだん充実してきているように感じる。今回御報告いただいた事業についても、順調に進めていただきたい。

資料 5～6 により、図書館長から情報提供(4～5)を説明。

- エ (4) 令和4年度子ども読書活動推進事業講演会について
- オ (5) 令和4年度児童文学講座について

[質疑応答・意見等]

〈逢坂議長〉

読書活動のより一層の推進や、学校図書室の地域開放も視野に入っていると教育長からお話があったが、学校司書の配置状況についてお伺いしたい。

(図書館長)

現在、市内の小中学校22校に対し、学校司書は15名。1名で1校を担当しているのは8名、2校担当しているのが7名となっている。

〈浜野委員〉

図書館の入り口付近にリユース本があるが、リユース本となる基準はどのようなか。

(図書館長)

除籍の基準があるため、それによって図書館の蔵書から外れたものは、廃棄、もしくはリユースをしている。

〈逢坂議長〉

図書を選定方法について、改めてお伺いしたい。

(図書館長)

図書を選定基準を設けており、司書同士が相談しながら基準に合うよ

うに選定している。

《逢坂議長》

参考として、デンマークの場合は、図書館を中心に図書選定委員会が設置され、その中には市民の代表、司書に加え、地域の書店の代表がおり、そのメンバーで図書館の本を選定する。そこで選定した図書は地域の書店から国の中央図書館へ報告が行き、中央図書館が購入し、地域の書店の収入となる仕組みになっている。日本と違い、色々な方が図書の選定に関わっているイメージがある。

＜藤木委員＞

図書館司書は何名在籍しているか。また、学校において教諭をしながら司書の資格を持っている方はいるのか。

(図書館長)

現在、図書館には司書の専門職として3名、司書の資格を持っている職員が2名在籍している。

学校司書は先ほど15名とお話したが、教諭として採用され、司書の資格を持っている方は司書教諭という位置付けになり、こちらは全体で50名ほどいると伺っている。

資料7により、スポーツ推進課長から情報提供(6)を説明。

カ (6) 学校開放予約システム等の導入について

[質疑応答・意見等]

＜竹内委員＞

子ども会で本町小学校の体育館を使うことがあるが、手続きはどのようになるか。

(スポーツ推進課長)

今回の制度は、基本的には普段スポーツ利用をしている団体への貸し出しとなるが、一度子ども育成課を通じて御相談いただきたい。

＜渡邊委員＞

防犯の関係上、電子錠の番号は随時変更されるものか。

(スポーツ推進課長)

随時変更される。例えば、同日の14時に使う団体と16時に使う団体では、違う番号が付与される。

(8) その他

事務局、委員より、その他資料の一部を説明。

ア 公民館点検・評価シートについて

(事務局)

現在運用している公民館点検・評価シートについて、昨年8月の教育委員会会議時に、文字が小さく読みにくいという御指摘をいただいた。それを踏まえ、今回事務局で様式の修正案を作成したため、御意見のある方は2月中に事務局まで御連絡いただきたい。

イ 地域部活動フォーラム in HADANO の結果について（当日配付）

教育指導課学習支援担当課長代理より、令和7年度以降、休日の学校部活動を段階的に地域に移行していく中での共通理解を図るために開催したフォーラムの概要を報告。

ウ スポーツ指導者・支援者スキルアップセミナー

フライングディスクの指導から見たこれからのスポーツのあり方（当日配付）

浜野委員より、3月12日（日）に開催されるスポーツ指導者・支援者スキルアップセミナーの紹介。

《逢坂議長》

公民館点検・評価シートについては、とても丁寧に作られているが、一覧で評価・結果が見ることができないので、より市民が見やすくなることを期待している。会議内でなくてもよいので、御意見等ある方は2月中に事務局まで御連絡いただきたい。

他に何かあるか。

(事務局)

社会教育委員の任期が本年5月31日で満了となることから、4月を目処に改選の準備を進めていく。女性委員、若手委員の積極的な登用が求められている現状がある中、前回同様、学識経験者以外の枠は団体推薦とし、学識経験者枠に一般公募委員の選出を考慮することとする。当会議のより適切かつ効率的な運営を図るため、御理解と御協力をお願いしたい。

《逢坂議長》

社会教育は社会教育法で定義されているが、あくまで行政がなすべき社会教育の定義であり、社会教育そのものの定義ではない。

この社会教育委員会会議は、市民の学習環境を豊かにするためのヒント

を考えることが趣旨であると思っているので、来年度も継続される委員の方は、ぜひ心に留めておいていただきたい。

(9) 閉会

《逢坂議長》

その他質問等なければ、これをもって閉会とさせていただきます。

長時間に渡り、ありがとうございました。

以上